

「顔と名前が一致する地域づくりを つうじた地域防災力」 ～これからの田尻町に必要なものは～

1995年に発生した阪神・淡路大地震から30年の節目の年を迎えました。この間も、全国各地で激甚化・頻発化する自然災害からの復旧・復興が進められています。「教育コミュニティづくり研修会」では、被災地域における復興からの地域づくりに関わり、実践研究を進められてきた渥美公秀氏を迎え、コンパクトな田尻町だからこそ出来ること、田尻町の良さを生かした地域づくり・地域防災力についてご講演をいただきます。



あつみ ともひで
渥美 公秀 氏

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

【講師略歴】

大阪大学大学院人間科学研究科単位取得修了。米国ミシガン大学Ph.D.(Psychology)。1993年神戸大学文学部赴任。西宮市で阪神・淡路大震災に被災。国内外の災害ボランティア活動に注目した実践と研究を続ける。1997年より大阪大学大学院人間科学研究科准教授、教授、現在に至る。(認特)日本災害救援ボランティアネットワーク理事長。著書に「災害ボランティア」(弘文堂)、編著に「東日本大震災と災害ボランティア」(大阪大学出版会)「集落<復興>」(大阪大学出版会)「誰もが<助かる>社会」(新曜社)など。

- 日時 令和8年1月29日(木) 19:00～ (18:30受付開始)
- 場所 たじりふれ愛センター4階 研修室
- 定員 80名程度

参加無料

※聴講をご希望の方は、書面をご確認のうえ、お申し込みください。

※定員に達し次第募集を締め切らせていただきます。

主 催：たじりtry・あんぐる

問い合わせ：田尻町生涯学習課

TEL 072-466-5029

FAX 072-466-5095